

記入例

一般廃棄物の処理に関する実績並びに減量化及び資源化に関する計画書

平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

相模原市長 あて

住 所 相模原市中央区中央〇-〇-〇

注意1

事業所名 ㈱〇〇食品 相模原工場

代表者名 代表取締役 相模 花子

電話番号 042 (754) 〇〇〇〇

相模原市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等の推進に関する条例第11条の規定により、提出します。

注意2 事業者の区分 業種・業務内容 (右記の該当する 番号に〇印をして ください。)	01 事業所	02 店舗(スーパー含む)	03 百貨店(デパート)			
	04 病院	05 ホテル	06 劇場・娯楽施設・冠婚葬祭業			
	07 金融・保険業	<input checked="" type="radio"/> 08 工場	09 倉庫			
	10 学校	11 複合用途	12 保健・福祉施設			
	13 その他()					
注意3 廃棄物の 管理の等	廃棄物管理組織	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	廃棄物管理規程	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		
	社内教育	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	処理施設	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
	資源の保管場所	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 (12.5 m ²)				
注意4 以下、貴社の状況に該当する箇所には〇印をつけてください。	Q1 一般廃棄物の処理はどのようにしていますか。 <input checked="" type="radio"/> ア 一般廃棄物収集運搬業者に委託 (業者名: ㈱〇〇産業) イ 自社で清掃工場に搬入 ウ 自社内で処理 エ 系列会社等が一括回収処理 オ その他()					
	Q2 資源の排出はどのようにしていますか。 <input checked="" type="radio"/> ア 一般廃棄物収集運搬業者が一括して処理(資源の品目について下記の中から〇印をつけてください)。 資源品目 <input checked="" type="radio"/> OA用紙 <input checked="" type="radio"/> 新聞・雑誌 <input checked="" type="radio"/> 段ボール、食物残さ、空き缶、空き瓶、木くず、 その他() <input checked="" type="radio"/> イ 資源回収業者等に委託(下記の資源化の状況欄に業者名等を記入してください)。 ウ その他()					
注意6 資源化の状況 (裏面の処理 実績に品目を 合わせてくだ さい。)	1	資源化物名	空き缶、空き瓶	2	資源化物名	魚アラ
		回収業者	〇〇商會㈱		回収業者	△△飼料㈱
		住 所	相模原市中央区富士見〇-〇-〇		住 所	東京都〇〇区〇〇町△△-△
		電話番号	042(754)〇〇〇〇		電話番号	03(3210)〇〇〇〇
	3	資源化物名		4	資源化物名	
		回収業者			回収業者	
		住 所			住 所	
		電話番号	()		電話番号	()
注意7 事業所内にお ける再生品等 の使用状況	用紙類	(<input checked="" type="radio"/> OA用紙)				
	事務用品	(<input checked="" type="radio"/> ノート、ボールペン、マジック)				
	雑品類	(<input checked="" type="radio"/> 石けん、トイレトペーパー)				
	エコマーク商品	(<input checked="" type="radio"/> 社員食堂の食器トレイ、作業服)				
注意8 再生原料を使 った商品の製 作・販売状況	・剪定枝はチップ化し、自社の堆肥化施設で使用し、肥料として出荷。 ・店頭回収した発泡トレイ・ペットボトルで、ベンチを作成・販売。 ・食物残さを専門業者で飼料化し、それをもとに育てた豚で自社ブランドのハムを製造・販売。					

前年度になります。

→平成〇〇年度の実績 単位:t/年

処理実績 ごみの内訳		処 理 区 分						資源化率 (a)÷ ((a)+(b))
		発生量 (a)+(b)	資源化量 (a)	排出量(資源化できなかったごみの量)(b)				
				事業所内 処理量	一般廃棄物 処理業者 委託量	市焼却場 自己搬入 量	その他	
		注意9	注意10	注意11	注意12	注意13	注意14	注意15
紙ごみ	OA用紙	4.5t	4.5t					100.00%
	新聞・雑誌	1.5t	1.5t					100.00%
	段ボール	20.0t	20.0t					100.00%
	その他	5.0t	1.0t		4.0t			20.00%
	小 計	31.0t	27.0t	0.0t	4.0t	0.0t	0.0t	87.10%
食 物 残 さ		93.0t	10.5t		82.5t			11.29%
空 き 缶		1.0t	1.0t					100.00%
空 き 瓶		1.0t	1.0t					100.00%
木 く ず		2.0t			2.0t			0.00%
その他()		1.0t	0.5t			0.5t		50.00%
小 計		98.0t	13.0t	0.0t	85.0t	0.5t	0.0t	13.27%
合 計		129.0t	40.0t	0.0t	88.5t	0.5t	0.0t	31.01%

※排出量等を計量していない場合は、排出に使う袋の大きさ・回数等から積算してください。

<p>平成〇〇年度の 減量化・資源化の実績</p> <p>(上記処理実績欄の 数値が前年度回答と 比較できる場合は、 数値の増減している 理由についてもわか る範囲で記入してく ださい。)</p>	<p>◎飲料の空き缶・空き瓶については、自販機設置業者の〇〇商会(株)が回収・リサイクルしている。その他の缶は産廃業者(株)××に委託し、資源化。</p>
	<p>◎OA用紙、新聞・雑誌、段ボールについては、一般廃棄物収集運搬業者である(有)〇〇産業に回収してもらい、資源化している。</p> <p>◎平成19年度より、その他紙ごみのうち、シュレッダー分を資源化した。</p> <p>◎食物残さの主なものは原料の△△ガラであるが、8月から脱水機を導入し、さらにそのうち一部を飼料化して減量化を図り、約2/3に減らした。</p>

注意16

<p>今後の 減量化・資源化の計画</p> <p>(貴社の廃棄物処理 に関する計画書等が あれば添付してくだ さい。)</p>	<p>◎平成20年4月から工場内における廃棄物管理規定および組織体制を定めて、廃棄物の排出抑制を進める(写しを添付)。</p>
	<p>◎食堂の食物残さについて、生ごみ処理機を導入し、減量化する。</p> <p>◎木製パレットおよびそれに付帯する梱包材等が産業廃棄物扱いとなることから、木製パレットから再利用可能な素材を使用したパレットに切り替える。</p> <p>◎昨年度、本社でISO14001を取得し、今年度工場でも取得予定。今後、数値目標の設定など減量化の取り組みを推進する</p>

注意17